

健康ちば21（第3次）計画に関する意見

資料2-1-⑤

1 次期計画に期待すること		2 その他御意見
該当項目	御意見	
保険者、企業等による健康づくりの広まり	企業等に使用される労働者の高齢化に伴う労働災害が増加傾向にあるため、健康ちば21（第3次）の活動を通して、健康な高齢労働者の増加により、労働災害等が減少する社会にあることを期待します。	健康日本21（第三次）ビジョン（案）に「多様化する社会において、集団に加え個人の特性をより重視しつつ最適な支援・アプローチの実施」とありますが、第14次労働災害防止計画（令和5年度からの5か年計画。厚生労働省）において、「治療と仕事の両立に関して、支援が必要な労働者が支援を受けられるように環境整備に取り組む」とされたため、高齢化が進む千葉県においても、治療と仕事の両立支援に対する支援（環境整備）を図ることを検討課題としていただきたい。
方向性	健康診断受診率向上を盛り込んでいただきたい。	—
目標値の設定と評価について	前回の協議会において令和6年までの最新値をベースラインとして目標値を設定するというお話だったかと思えます。今後コロナ以前の社会に戻るのか、ウィズコロナ時代として後戻りすることがないのか、あるいは更に大きな流行を迎えるのか、またそれが各指標にどう影響するのかわかりませんが、少なくとも最新値にはコロナ流行の影響を色濃く受けたものが含まれる可能性があるかと考えています。その点において、既にご考慮されているかもしれませんが、コロナ以前（前回計画の中間評価等）のデータとの比較という視点もあって良いかもしれないと考えています。	—

R5.4月～5月 健康ちば地域・職域連携推進協議会委員より